

当社では健康衛生関連施策を推進する上で、関連指標を設定しモニタリングを通じた改善を図っています。
 過去よりアブセンティーズム（疾病休業日数率）を主要指標として測定しており、前中期経営計画期間の平均値から中期的に0.68%を目指すことを目標としています。
 こころの健康に関しては、仕事の負担感が高い状態が継続しており、高ストレス者率も増加傾向にあります。そして、メンタル不調に起因するアブセンティーズムを下げるのが十分にできていません。そのため、社員個人、職場の両面からメンタルヘルス対策の強化を図っていきます。
 からだの健康に関しては、コロナ禍における社員一人ひとりの健康意識の高まりを活かし、eラーニングを通じたヘルスリテラシーの向上を強化してきた結果、全社的に生活習慣の改善を図ることができていますが、生活習慣スコアの低い層は未だ多く存在し、そのような層ほど適正体重者率は低く、健康管理良好者率も低い傾向があります。そのため、より一層の生活習慣改善を図るべく、ヘルスリテラシー向上と健康行動の促進に資する施策の強化、および健康経営推進体制強化を通じた全社への施策の浸透を図っていきます。

指標		実績					目標
大分類	具体指標	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期
社員の 施策参加状況	健康教育受講率「定期健康診断の正しい知識」	—	81.8%	89.2%	84.1%	93.4%	90%
	健康教育受講率「セルフケア」	81.6%	87.3%	90.9%	88.4%	94.6%	90%
	健康教育受講率「女性の健康講座_男女の健康編」	—	—	—	—	86.5%	—
	健康教育 平均満足度	—	—	—	83.0%	—	—
	有給休暇取得率	83.4%	78.9%	81.1%	85.1%	—	—
	健診受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	100%
	精密検査受診率*1	100.0%	100.0%	99.7%	99.5%	—	100%
	保健指導実施率*2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	100%
	ストレスチェック受検率	93.0%	93.5%	91.8%	92.6%	94.0%	100%
社員の 意識・行動変容	ヘルスリテラシー	—	—	—	3.44	3.59	—
	生活習慣スコア*3	3.18	3.35	3.36	3.41	—	3.54
	高血圧治療中率	81.6%	84.3%	93.6%	89.3%	—	90.0%
社員の 健康状態等	適正体重維持者率*4	68.3%	68.5%	68.9%	68.8%	—	69.3%
	健康管理良好者率*5	86.4%	86.8%	86.6%	87.9%	—	88.5%
	高ストレス者率	10.9%	8.5%	10.0%	11.1%	—	8.5%
	アブセンティーズム *6 (疾病休業日数率)	0.83%	0.76%	0.87%	0.86%	—	0.68%
	プレゼンティーズム *7	—	—	—	78.3%	77.1%	—
	ワークエンゲージメント *8	—	—	4.74	4.67	4.89	—
	健康課題起因での離職率*9	0.09%	0.05%	0.14%	0.18%	—	—

集計範囲：HD,SPE,GA,FT,PE,AS,IP

- *1 当社基準で産業医閾値に該当した従業員における精密検査受診率を算出（数値が高いほど良い）
- *2 当社基準で保健師面談に該当した従業員における保健指導実施率を算出（数値が高いほど良い）
- *3 健診時の問診結果を基に「運動」「食事」「睡眠」「飲酒」「喫煙」の望ましい健康行動がとれれば各1点を付与し、合計0～5点で算出（数値が高いほど良い）
- *4 健診結果を基に、BMIが18.5以上かつ25.0未満である社員割合を算出（数値が高いほど良い）
- *5 健診結果を基に、産業医が定めている独自基準で検査項目5つ（血圧・脂質・血糖・肝機能・貧血）すべてが保健師面談に抵触しない従業員を、「健康管理良好者」として定義しその従業員の割合を算出（数値が高いほど良い）
- *6 従業員の所定労働日数合計に対する従業員の疾病休業日数合計の割合を算出（数値が高いほど悪い）
 ※2023年3月期は、2022年4月1日時点の従業員2,317名を対象に測定
- *7 病気やけががないときに発揮できる仕事のパフォーマンスを100%としたときの過去4週間の仕事のパフォーマンスを自己評価して算出（数値が高いほど良い）
 ※社内アンケートで測定。2024年3月期は、2023年7月1日時点の従業員2,257名を対象に実施（回答率94.0%、2,121名）
- *8 仕事へのエンゲージメント（活力、熱意、没頭）をどれほど有しているかを測る指標（2～8で評価）。ストレスチェックの設問より算出（数値が高いほど良い）
 ※ストレスチェックで測定。2024年3月期は、2023年7月1日時点の従業員2,257名を対象に実施（回答率94.0%、2,121名）
- *9 社員におけるメンタルヘルス不調もしくはそれ以外の疾病による離職者の割合を算出（数値が高いほど悪い）